

会員数 38,303 (前月比) + 80

郵送 9,366 (前月比) + 40

手配り 26,878 (前月比) + 2

協同基金到達額 2,487,172,000円(7/31現在)

[前月比 7,859,000増]

協同基金出資者数 18,564名(7/31現在)

いのちを守る助け合い募金額 31,630円(7/1~31)



原水爆禁止2019年世界大会長崎

みみはらグループから20人参加

8月7日から9日の3日間、原水爆禁止2019世界大会が長崎市で開催されました。開会総会の会場となった長崎市民会館には、海外代表や被爆者、市民も含めて4000人以上が参加。みみはらグループからは20人が、大阪原水協代表274人の一員として参加しました。



7日の開会総会では、世界大會議長団の安斎育郎さんから、2017年7月に国連が「核兵器禁止条約」を採択し、核兵器を全面的に違法化する規範を打ち立てから2年。すでに国連加盟国の3分の2を超える国々に支持され、70カ国以上が署名、条約の発効に必要な50カ国の半分、25カ国が批准しており、核兵器廃絶への歩みは、この2年間で着実に前進していること

が報告されました。

一方で、いまだに、世界には約14000発の核弾頭が存在すること。核保有国は、「核抑止」政策に固執し、核兵器を全面的に反対し、核兵器廃絶の国際的な流れに敵対していること。核兵器の実戦使用による地獄を体験した日本政府がアメリカに追随し、この条約に背を向けていることなど、厳しい内外の情勢

が報告されました。

こうした状況の下、核兵器廃絶への流れを止めず、逆戻りさせない世論と運動がますます重要な tentangており、「ヒバクシャ国際署名」を世界中に広げ、来年に予定されている「原水爆禁止世界大会(ニューヨーク)」に総結集し、2020年を核兵器廃絶への歴史的転機とするために共同を広げようとの訴えがありました。

今回、世界大会に参加させていただき、核兵器や原発などの問題が、平和や基本的人権の課題だけにどまらず、自然や地域経済など、身近な私たちの暮らしの課題そのものであることを知ることができました。

参加させていただき、本当にありがとうございました。

(健康友の会みみはら 事務局次長 篠原 聰)

核兵器廃絶へ 共同ひろげよう



講師の大坂原水協 岩田さん

7月22日みみはらホールにて、講師に大阪原水協顧問の岩田幸男さんを迎えて、「核兵器をめぐる情勢と2019年原水爆世界大会(長崎大会)の意義」と題して、学習講演を行いました。

岩田幸男さんを迎え、7月22日みみはらホールにて、講師に大阪原水協顧問の岩田幸男さんを迎えて、「核兵器をめぐる情勢と2019年原水爆世界大会(長崎大会)の意義」と題して、学習講演を行いました。

みみはらグループ「反核平和学習会」

運動の継承が大切

岩田幸男(大阪原水協顧問)さんを迎えて

た。参加者は27人でした。「核兵器禁止は世界の流れ」であり、その流れを作ってきたのはこれまで、私たちの「草の根の力」がその根本であり、それまで「ゆめ、『理想』であった「核兵器禁止条約」が採択されたといつ、新たな歴史がうまれた話を、熱く話されました。

しかし、世界で唯一の被爆国である日本の政府やアメリカ政府が欠席であったこと。そして更に多くの国がこの条約に署名し、批准して1日も早く発効されること。2020年NPT再検討会議を転換点にできるかなど、若い人たちにこれらの運動を継承していくことにも、今年の原水禁世界大会に多くの若い職員が参加することは大きな意義があること。話されました。

(事務局)

た。参加者は27人でした。「核兵器禁止は世界の流れ」であり、その流れを作ってきたのはこれまで、私たちの「草の根の力」がその根本であり、それまで「ゆめ、『理想』であった「核兵器禁止条約」が採択されたといつ、新たな歴史がうまれた話を、熱く話されました。

しかし、世界で唯一の被爆国である日本の政府やアメリカ政府が欠席であったこと。そして更に多くの国がこの条約に署名し、批准して1日も早く発効されること。2020年NPT再検討会議を転換点にできるかなど、若い人たちにこれらの運動を継承していくことにも、今年の原水禁世界大会に多くの若い職員が参加することは大きな意義があること。話されました。

(事務局)

7月22日みみはらホールにて、講師に大阪原水協顧問の岩田幸男さんを迎えて、「核兵器をめぐる情勢と2019年原水爆世界大会(長崎大会)の意義」と題して、学習講演を行いました。

岩田幸男さんを迎え、7月22日みみはらホールにて、講師に大阪原水協顧問の岩田幸男さんを迎えて、「核兵器をめぐる情勢と2019年原水爆世界大会(長崎大会)の意義」と題して、学習講演を行いました。

岩田幸男(大阪原水協顧問)さんを迎えて

た。参加者は27人でした。「核兵器禁止は世界の流れ」であり、その流れを作ってきたのはこれまで、私たちの「草の根の力」がその根本であり、それまで「ゆめ、『理想』であった「核兵器禁止条約」が採択されたといつ、新たな歴史がうまれた話を、熱く話されました。

しかし、世界で唯一の被爆国である日本の政府やアメリカ政府が欠席であったこと。そして更に多くの国がこの条約に署名し、批准して1日も早く発効されること。2020年NPT再検討会議を転換点にできるかなど、若い人たちにこれらの運動を継承していくことにも、今年の原水禁世界大会に多くの若い職員が参加することは大きな意義があること。話されました。

(事務局)

聴診器

9月といえ
ば「敬老の日」。去年初
めて自治会の
「敬老の日」
の集りに参加
した。ずっと
働いていたので、ご近所
とのおつきあいが限られ
ておらず、知らない人の中
に入るのを躊躇してい
た。定年後、守屋池の周
りを歩いたりしながら、
顔見知りの人が増え、挨
拶したり、おしゃべりす
るようになってきた。お
隣の奥さんも参加される
し、思いきって行ってみ
た▼自治会館のホールに
いっぱいの人。テーブル
を挟んで向い合わせにす
わり、テーブルにはお菓
子とお茶。爪楊枝入れは
かわいい手作り。参加者
の中に結構知人が見つか
り、リラックスして楽し
めた。小学校のブラスバ
ンドの演奏があり、自治
会長のお話「守屋池の四
季」スライド上映。守屋
池には「ナニワトンボ」
という希少種がいるらし
い。薄緑色のきれいなト
ンボだ。いまトンボがた
くさん飛んでいるがまだ
「ナニワトンボ」にはお
目にかかるっていない。タ
ンポポも日本タンポポが
咲くらしい。来年の春に
はネットで特徴を調べて
探してみよう▼今年は自
治会の評議員(班の世話
役)をしているので、お
赤飯を配る。集りにも参
加して楽しめていただ
くつもりである。

(山上佳代子)